

令和7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

キツネメバル日本海北部

対象水域	日本海北部 (青森県～石川県)	参画機関名	青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部
------	--------------------	-------	---

- ・ 令和6年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_139.pdf）、次回令和9年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 青森県は各種資料の統括を実施
- ・ 各府県は漁獲統計の収集を実施
- ・ 機構は各県漁獲情報の集約を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2007年以降の漁業種類別年間漁獲量と2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 秋田県では2009年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 山形県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 新潟県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 富山県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 石川県では主要10港の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 機構は各府県の漁獲量集約を実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和6年度資源評価調査報告書を参照（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_139.pdf）
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・漁獲データのキツネメバル複合種群問題をどのように整理するか検討が必要
- ・キツネメバル複合種群とクロソイが分離されていない漁獲情報の整理が必要
- ・漁獲量以外の資源量指標値の探索が必要